

事業番号	08 04 40	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水産試験場種苗開発費				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S56 ~		

1 事業の概要

目指す姿	長野県の水産業を持続的に発展させるために、本県の特産魚である信州サーモンやシナノユキマスなどの優良な養殖用種苗のほか、冷水病等病気がないアユ種苗を安定的に供給する。						
現状（予算編成時）	○平成16年に種苗供給を開始した信州サーモンは順調に生産量が拡大している（H24食用魚出荷量：300トン） ○信州サーモンの赤身と対比した自身の大型マス類（イワナ三倍体）の要望がある。						
県が関与する理由	県でなければ実施不可（その他）	【左記の説明、根拠法令等】 バイテク種苗は散逸防止など厳格な施設での生産が必要で、民間に業務を移行できない。その他種苗についても技術的に県の施設での生産が必要である。					
成果目標・事業内容	① 成果目標（H26） 水産資源の増大及び養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、民間で技術的に生産が困難な魚種（品種）の種苗供給を安定的に行うことにより水産業振興に資する。 ・卵、稚魚の出荷 140万粒、199.5万尾						
	② 事業内容（単位：千円）						
		項目	実施方法	H26事業実績	H26（当初）	H26（決算）	H27（当初）
		ニジマス種苗供給	直接	・ニジマスバイテク種苗の供給 全雌・三倍体卵164万粒	2,903	2,877	2,903
		在来マス・信州サーモン種苗供給	直接	・信州サーモン種苗等の供給 信州サーモン稚魚31.9万尾 イワナ普通卵5万粒、イワナ三倍体稚魚1.9万尾	4,480	4,440	4,618
		アユ種苗供給	直接	・アユ種苗の供給 稚魚88.7万尾、大型稚魚15万尾	10,334	10,241	10,334
		シナノユキマス・フナ等種苗供給	直接	・シナノユキマス種苗の供給 ふ化仔魚80万尾、稚魚6.2万尾 ・コイ科魚類種苗の供給 ウグイ稚魚14.9万尾、ウグイ大型稚魚69kg フナ親魚1トン	3,324	3,294	3,324
				合計	21,041	20,852	21,179

事業コスト	区分（単位：千円）	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	20,491	23,071	21,041	21,179
	補正予算	2,068			
	合計（A）	22,559	23,071	21,041	21,179
	一般財源	0	0	277	
	県債				
	国庫支出金				
	その他（財産収入等）	22,559	23,071	20,764	21,179
	決算額（B）	22,035	22,665	20,852	
概算人員費	職員数（人）	7.20	7.20	7.20	7.20
概算人員費（C）	59,458	59,458	59,458	59,458	
概算事業費（B（A）+C）	81,493	82,123	80,310	80,637	

成果目標の達成状況					
項目	H25末（実績）	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
卵の出荷	133万粒	140万粒	168.5万粒	達成	—
稚魚の出荷	209万尾	199.5万尾	143.6万尾	未達成	—
種苗供給充足率	—	—	—	—	100%

目標に対する成果の状況	卵の出荷は168.5万粒を出荷し、成果目標を達成した。一部の稚魚の出荷において業界の要望に応じて種苗サイズを大きくしたため、出荷尾数は目標を下回った。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	今後も県の水産業を持続的に発展させるため、養殖業者や河川湖沼漁業協同組合の要望に応えながら、信州サーモンやシナノユキマスなどの優良養殖用種苗及び病気がないアユ種苗の安定供給を図る。